

インタフェース仕様書

市町村編

【抜粋版】

平成27年4月

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	出力対象項目(※1)				備考	
					J121	J131	J141	J221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02 を設定する(日数情報レコード)	◎	◎	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する						
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	◎	◎	※Y	
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード 2 桁を設定する	◎	◎	◎	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設定する)	◎	◎	◎	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設定する)	○	○	○	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎ ※5		○ ※4	◎ ※5	
13		入院日数	数値	2	サービス種類毎に入院日数を設定する	○	○			※3
14		外泊日数	数値	2	サービス種類毎に外泊日数を設定する	○	○			※3
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	◎	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5: 過誤の取下	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 1. 障害福祉サービス等 2. 3. 1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:介護給付費等明細書へは、入院又は外泊をした日数の合計を入院日数欄に記載するが、インタフェース上は入院日数、外泊日数を分けて設定する。

※4:サービス提供があった場合のみ設定する。

※5:サービス提供年月が平成 27 年 4 月以降、欠席時対応加算のみの場合、0 を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 1. 障害福祉サービス等 2. 2インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

⑦ 点検済サービス提供実績記録票情報 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1	
3	レコード種別コード	コード値	2	01 を設定する(基本情報レコード)		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	※Y	
5	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデ ジット1桁含む)	※C	
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C	
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号2桁、枝番2桁を設定	※2	
9	補足給付関係情報	補足給付適用の有無	コード値	1	1:無し 2:有り	
10		補足給付額(円/日)	数値	4	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 日単位の補足給付額を設定	
11		食費の単価 朝食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、朝 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
12		食費の単価 昼食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、昼 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
13		食費の単価 夕食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、夕 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
14		食費の単価 一日 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 日単位の単価を設定(契約が1日単位の場 合)	
15		光熱水費の単価 一日 (円/日)	数値	6	補足給付適用の有無が有りの場合に、日 単位の光熱水費単価を設定 (契約が一日単位の場 合)	
16		光熱水費の単価 一月 (円/月)	数値	6	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 月単位の光熱水費単価を設定 (契約が一月単位の場 合)	
17	合計 1	内訳 100%	数値	5	居宅介護(身体介護)において、初任者研 修課程修了者等による実績時間数(時間) を整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5 時間→09950(または 9950)	※3 ※10
18		内訳 70%	数値	5	居宅介護(身体介護)において、基礎研修 課程修了者等による実績時間数(時間)を 整数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5 時間→09950(または 9950)	※4 ※11
19		内訳 重訪	数値	5	居宅介護(身体介護)において、重度訪問 介護研修修了者による時間数(時間)を整 数部3桁+小数部2桁で設定。例:99.5時 間→09950(または 9950)	

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	備考
34	算定 移動介護分	数値	3	移動介護の時間数(時間)を整数部 2 桁＋小数部 1 桁で設定(例:10.5 時間→105)。移動介護の時間数(時間)が 100 時間を超える場合は 999 を設定(例:100 時間→999)。	※5
35	実績 送迎加算(回)	数値	2	片道単位の送迎回数を設定	
36	実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	家庭連携加算のサービス提供回数を設定	
37	実績 家庭連携加算(回) (算定回数)	数値	2	家庭連携加算の算定回数を設定	
38	合計 算定日数(日)	数値	2	算定日数の合計を設定	
39	夜間支援体制加算(回)	数値	2	共同生活援助、宿泊型自立訓練において、夜間支援等体制加算の算定回数を設定。	※6
40	日中支援加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	日中支援加算のサービス提供回数を設定	
41	日中支援加算(回) (算定回数)	数値	2	日中支援加算の算定回数を設定	
42	通所型(回)	数値	2	通所型の回数を設定	
43	訪問型 1時間未満(回)	数値	2	訪問型 1時間未満の回数を設定 ただし、訪問型(視覚)は合計しない	
44	訪問型 1時間以上(回)	数値	2	訪問型 1時間以上の回数を設定 ただし、訪問型(視覚)は合計しない	
45	短期滞在加算(回)	数値	2	短期滞在加算の回数を設定	
46	食事提供加算(回)	数値	2	食事提供加算の提供回数を設定	
47	入院・外泊時加算(回)	数値	2	加算を算定する回数を設定	
48	入院時支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	入院時支援特別加算のサービス提供回数の合計を設定	
49	入院時支援特別加算(回) (算定回数)	数値	2	入院時支援特別加算の算定回数の合計を設定	
50	自立生活支援加算(回)	数値	2	自立生活支援加算の回数の合計を設定	
51	自活訓練加算(回)	数値	2	自活訓練加算の回数を設定	
52	訪問支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	訪問支援特別加算のサービス提供回数の合計を設定	
53	訪問支援特別加算(回) (算定回数)	数値	2	訪問支援特別加算の算定回数の合計を設定	
54	施設外支援 当月(日)	数値	2	就労移行支援において、当月の移行準備支援体制加算(Ⅰ)を行った日数を設定 就労継続支援において、当月の施設外支援を行った日数を設定	※7
55	施設外支援 累計 (日/180日)	数値	3	就労移行支援において、移行準備支援体制加算(Ⅰ)の累計日数を設定 就労継続支援において、施設外支援の累計日数を設定	※8

提供実績の合計

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
97	重度訪問介護 (様式3-2)集計欄	第3時間帯 日中	数値	3	第3時間帯の日中時間数を設定	
98		第3時間帯 夜間	数値	3	第3時間帯の夜間時間数を設定	
99		第3時間帯 深夜	数値	3	第3時間帯の深夜時間数を設定	
100		第4時間帯 早朝	数値	3	第4時間帯の早朝時間数を設定	
101		第4時間帯 日中	数値	3	第4時間帯の日中時間数を設定	
102		第4時間帯 夜間	数値	3	第4時間帯の夜間時間数を設定	
103		第4時間帯 深夜	数値	3	第4時間帯の深夜時間数を設定	
104		第5時間帯 早朝	数値	3	第5時間帯の早朝時間数を設定	
105		第5時間帯 日中	数値	3	第5時間帯の日中時間数を設定	
106		第5時間帯 夜間	数値	3	第5時間帯の夜間時間数を設定	
107		第5時間帯 深夜	数値	3	第5時間帯の深夜時間数を設定	
108		第6時間帯 早朝	数値	3	第6時間帯の早朝時間数を設定	
109		第6時間帯 日中	数値	3	第6時間帯の日中時間数を設定	
110		第6時間帯 夜間	数値	3	第6時間帯の夜間時間数を設定	
111	第6時間帯 深夜	数値	3	第6時間帯の深夜時間数を設定		
112	施設種類	コード値	2	設定しない		
113	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	※Y	
114	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス等2. 3. 1(4)入力識別番号一覧」参照。

※2:様式番号については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1. 2. 3. 6 サービス提供実績記録票情報 (4)様式と様式種別番号の対応」を参照。また、様式番号に対応する出力対象項目については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1. 2. 3. 6 サービス提供実績記録票情報 (5)入力必須項目と様式の対応表(基本情報レコード)」を参照。

※3:サービス提供年月が平成25年3月以前の場合、「初任者研修課程終了者等」は「1・2級ヘルパー等」と読み替えて使用する。

※4:サービス提供年月が平成25年3月以前の場合、「基礎研修課程終了者等」は「3級ヘルパー等」と読み替えて使用する。

※5:サービス提供年月が平成21年3月以前は、移動介護の時間数(時間)を整数部3桁で設定する。

※6:サービス提供年月が平成24年3月以前の場合、共同生活介護において、夜間支援体制加算の回数を設定する。共同生活援助において、夜間防災体制加算の回数を設定する。

サービス提供年月が平成24年4月以降、平成26年3月以前は、共同生活介護において、夜間支援体制加算の算定回数を設定する。共同生活援助、宿泊型自立訓練において、夜間防災・緊急時支援体制加算の算定回数を設定する。同一日に夜間防災・緊急時支援体制加算(I)と(II)を算定する場合は、1回とカウントする。

サービス提供年月が平成26年4月以降、平成27年3月以前は、共同生活援助において、夜間支援等体制加算の算定回数を設定する。宿泊型自立訓練において、夜間防災・緊急時支援体制加

算の算定回数を設定する。同一日に夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅰ)と(Ⅱ)を算定する場合は、1回とカウントする。

※7: サービス提供年月が平成24年3月以前は、就労移行支援において、当月の施設外支援を行った日数を設定する。

※8: サービス提供年月が平成24年3月以前は、就労移行支援において、累計の施設外支援の日数を設定する。

※9: サービス提供年月が平成26年3月以前は、共同生活介護の合計日数を設定する。

※10: サービス提供年月が平成27年3月以前は、居宅介護(身体介護)、行動援護において、初任者研修課程修了者等による実績時間数(時間)を整数部3桁+小数部2桁で設定する。

※11: サービス提供年月が平成27年3月以前は、居宅介護(身体介護)、行動援護において、基礎研修課程修了者等、減算対象ヘルパー等による実績時間数(時間)を整数部3桁+小数部2桁で設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 1. 障害福祉サービス等 2. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

⑧ 点検済サービス提供実績記録票情報 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	※Y
5	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット 1桁含む)	※C
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2桁、枝番 2桁を設定 様式3-1の場合、0301を設定	※2
9	提供通番	数値	3	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護、共同生活援助(受託居宅介護サービス費)において、複数の明細情報レコード(サービス提供時間)が一連のサービス提供であることを識別するための番号	※3
10	日付	コード値	2	日を設定(短期入所の場合、サービス提供を行った全ての日を設定する)	
11	サービス提供回数	数値	2	日付の中でサービスを提供した順を設定	※4
12	サービス内容	コード値	6	居宅介護、同行援護、および重度包括のサービス種別を判定する為に、決定コード 6桁を設定	
13	ヘルパー資格	コード値	2	資格要件対象のサービスのみ設定 居宅介護(11:初任者等 12:基礎等 13:重訪) 同行援護(11:初任者等 12:基礎等) 行動援護(21:初任者等 22:減算)	※7 ※10 ※19
14	運転フラグ	コード値	1	運転を表す場合、1を設定	
15	開始時間	数値	4	開始時間を数字 4桁で設定 例)10:00→1000	
16	終了時間	数値	4	終了時間を数字 4桁で設定 例)11:00→1100	
17	算定時間数	数値	4	居宅介護、重度訪問介護、行動援護、重度包括、同行援護、共同生活援助(受託居宅介護サービス費)において、算定時間数(時間)を設定(整数部 2桁+小数部 2桁を設定、例:10.5時間→1050)	
18	乗降(回数)	数値	2	乗降介助の回数を設定	
19	移動	数値	2	重度訪問介護の移動に係る算定時間数(時間)を整数部1桁+小数部1桁で設定(例:3時間→30)。	※11
20	派遣人数	数値	1	通常は‘1’を設定 同一時間に 2人ヘルパーでサービス提供を行った場合‘2’を設定	
21	前月からの継続サービス	コード値	1	居宅介護、同行援護において、前月から継続したサービス提供を行った場合、1を設定する	
22	送迎加算 往	数値	1	送迎(往路)を行った回数を設定	
23	送迎加算 復	数値	1	送迎(復路)を行った回数を設定	
24	家庭連携加算 (サービス提供時間数)	数値	4	実際に支援に要した時間数(時間)を設定(整数部 2桁+小数部 2桁を設定、例:1.5時間→0150(または150))	

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	備考
25	家庭連携加算 (算定時間数)	数値	2	算定する時間数(時間)を設定	
26	自活訓練加算	コード値	1	加算を算定する場合1を設定	
27	短期滞在加算	コード値	1	加算を算定する場合1を設定	
28	訪問支援特別加算 (サービス提供時間数)	数値	4	実際にサービス提供した時間数(時間)を設定(整数部2桁+小数部2桁を設定、例:1.5時間→0150(または150))	
29	訪問支援特別加算 (算定時間数)	数値	2	算定する時間数(時間)を設定	
30	施設外支援	コード値	1	就労移行支援において、移行準備支援体制加算(Ⅰ)を算定する場合、1を設定。移行準備支援体制加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定 就労継続支援において、施設外支援を行った場合、1を設定	※12
31	退所時特別支援加算	コード値	1	退所時特別支援加算を行った場合、1を設定	
32	地域移行加算	コード値	1	地域移行加算を行った場合、1を設定	
33	食事提供加算	コード値	1	加算対象となる低所得者に対して食事を提供した場合1を設定	
34	入院・外泊時加算	コード値	1	入院・外泊時加算(Ⅰ)を算定する場合、1を設定 入院・外泊時加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定	※13
35	提供形態	コード値	1	1:通所型 2:訪問型 3:訪問型(視覚)	
36	備考	漢字	100	備考欄に記載が必要な場合、設定	※5
37	サービス提供の状況	コード値	1	様式種別番号ごとに定められたサービス提供の状況を表すコード1桁を設定	※8
38	夜間支援体制加算	コード値	1	共同生活援助、宿泊型自立訓練において、夜間支援等体制加算(Ⅰ)を算定する場合、1を設定。夜間支援等体制加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定。夜間支援等体制加算(Ⅲ)を算定する場合、3を設定。	※14
39	入院時支援特別加算 (サービス提供回数)	コード値	1	入院時支援特別加算の算定要件を満たす支援を行った場合1を設定(報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は設定する)	
40	入院時支援特別加算 (算定回数)	コード値	1	入院時支援特別加算の報酬上算定できる回数を設定する	
41	帰宅時支援加算 (サービス提供回数)	コード値	1	帰宅時支援加算の算定要件を満たす支援を行った場合1を設定(報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は設定する)	
42	帰宅時支援加算 (算定回数)	コード値	1	帰宅時支援加算の報酬上算定できる回数を設定する	
43	自立生活支援加算	コード値	1	自立生活支援加算を算定する場合、1を設定する	

- ※8: 設定値については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1. 2. 3. 6 サービス提供実績記録票情報 (5)～(12)「入力必須項目と様式の対応表」を参照。
- ※9: 「5:早朝・喀痰吸引等」、「6:喀痰吸引等」、「7:夜間・喀痰吸引等」及び「8:深夜・喀痰吸引等」については、サービス提供年月が平成24年4月以降使用する。
- ※10: サービス提供年月が平成25年3月以前の場合、「初任者等」は「1・2級等」、「基礎等」は「3級等」と読み替えて使用する。
- ※11: サービス提供年月が平成21年3月以前は、実際の移動時間数(時間)を整数部2桁で設定する(例:3時間→03)。
- ※12: サービス提供年月が平成24年3月以前は、就労移行支援において、施設外支援を行った場合、1を設定する。
- ※13: サービス提供年月が平成24年3月以前は、加算を算定する場合、1を設定する。
- ※14: サービス提供年月が平成24年3月以前は、共同生活介護において、夜間支援体制加算を算定する場合、1を設定する。共同生活援助において、夜間防災体制加算を算定する場合、1を設定する。
- サービス提供年月が平成24年4月以降、平成26年3月以前は、共同生活介護において、夜間支援体制加算(Ⅰ)を算定する場合、1を設定する。夜間支援体制加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定する。共同生活援助、宿泊型自立訓練において、夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅰ)を算定する場合、1を設定する。夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定する。夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅰ)、夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅱ)の両方を算定する場合、3を設定する。
- サービス提供年月が平成26年4月以降、平成27年3月以前は、共同生活援助において、夜間支援等体制加算(Ⅰ)を算定する場合、1を設定する。夜間支援等体制加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定する。夜間支援等体制加算(Ⅲ)を算定する場合、3を設定する。宿泊型自立訓練において、夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅰ)を算定する場合、1を設定する。夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅱ)を算定する場合、2を設定する。夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅰ)、夜間防災・緊急時支援体制加算(Ⅱ)の両方を算定する場合、3を設定する。
- ※15: サービス提供年月が平成26年3月以前は、共同生活介護、共同生活援助、宿泊型自立訓練において、日中支援加算の算定要件を満たす支援を行った場合、1を設定する。報酬上算定できる回数にかかわらず、要件を満たす場合は設定する。
- ※16: サービス提供年月が平成26年3月以前は、共同生活介護、共同生活援助、宿泊型自立訓練において、日中支援加算の報酬上算定できる回数を設定する。
- ※17: サービス提供年月が平成24年3月以前は、施設入所支援において、土日等日中支援加算の算定日に1を設定する。
- ※18: サービス提供年月が平成26年3月以前の場合、「共同生活援助」は「共同生活介護」と読み替えて使用する。
- ※19: 行動援護(21:初任者等、22:減算)については、サービス提供年月が平成27年4月以降使用しない。
- ※B:「インタフェース仕様書 市町村編 1. 障害福祉サービス等 2. 2 インタフェース一覧」参照。
- ※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。
- ※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)	備考	
					K122 K221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(日数情報レコード)	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する			
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック デジット1桁含む)	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年月 日等)(西暦年月日YYYYMMDDを設定する)	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年月 日等)(西暦年月日YYYYMMDDを設定する)	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎	※3
13		入院日数	数値	2	設定しない		
14		外泊日数	数値	2	設定しない		
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援2. 3. 1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:サービス提供年月が平成27年4月以降、欠席時対応加算のみの場合、0を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 II. 障害児支援 2. 2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力(※1)			備考	
					J121	J131	J221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(日数情報レコード)	◎	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	◎	※3	
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	※Y	
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(フェッ クデジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番 号	◎	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年 月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設 定する)	◎	◎	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年 月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設 定する)	○	○	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎		◎	※4
13		入院日数	数値	2	サービス種類毎に入院日数を設定する	○	○		
14		外泊日数	数値	2	サービス種類毎に外泊日数を設定する	○	○		
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設 定する	◎	◎	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤 の取下	

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要

なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 3. 1(1) 入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※4: サービス提供年月が平成27年4月以降、欠席時対応加算のみの場合、0を設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1. 3 表記法」参照。

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考	
					K122	K221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(日数情報レコード)	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	※3	
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	※Y	
6	都道府県等番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チケット1桁含む)	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード 2桁を設定する	◎	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎	◎	※4
13		入院日数	数値	2	設定しない			
14		外泊日数	数値	2	設定しない			
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下	

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須、○: 請求内容により必須、△: 任意設定、空白: 不要
 なお、障害児給付費用国保連合会保有給付実績情報(D131)の場合は、出力対象項目と
 読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1. 3. 2(1)入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※4: サービス提供年月が平成 27 年 4 月以降、欠席時対応加算のみの場合、0 を設定する。